

2019 年度実施概要

学校名

石川県鳳珠郡能登町立小木小学校

採択活動名

海に親しみ ふるさとに誇りと愛着を持つ児童の育成 ～海に関する体験活動を通して～

取り組みの概要

1 実践の概要・ねらい

本校の石川県小木地区は、能登半島先端部に位置し、日本海側有数の遠洋イカ釣り漁業の基地であり、イカの水揚げ量が日本海側で一番多く、地域住民も「イカの町」としての誇りを持っている。また、この地域独特の文化・祭礼、地域活性化行事「イカす会」など海洋関係の種々の行事があり、海に関する施設も多数隣接している。

これらの環境を活かし、児童の発達段階に応じた「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を利用する」学習活動を視点に、年間通して計画的に展開する教育課程の開発と実践を通して、地域に誇りと愛着を持つ児童の育成をめざすものである。

2 実践計画

① テーマ・概要・活動計画、教科等

1 年生：「生活科」～海に親しむ～

「きせつとともにだち」の単元を中心に、近隣の海洋体験施設に出向き、磯観察や磯遊びを通して季節によって変わる生き物や海藻の違いを学習する。

2 年生：「生活科」～海に親しむ～

「生きものといっしょに」の単元を中心に、海の生き物マップ作りや採集した生き物を飼育、1 年生への紹介活動を通して海に親しむ学習を深め、海を知る活動につなげる。

3 年生「総合的な学習の時間」～海を知る、海を守る～

「地域・環境学習」を中心に、地元の海を探検し「海のハンドブック」をつくる。海に関する地域の祭りや、海上保安署と連携して海を守るための学習を行う。

4 年生「総合的な学習の時間」～海を知る、海を守る～

海の生き物や海藻など地域の海を調べ直し、「小木発信プロジェクト」による「イカの町」CM づくりに取り組み、地域の良さを発信する学習、海を守る活動を行う。

5 年生「里海科」（文科省特例教科）～海を知る、海を守る、海を利用する～

地域行事に参加しながら、「魚のたんじょう」や「日本の水産業」について学び、地域の漁業について理解を深める。また、「海を守る」活動として、海洋ゴミ問題に取り組む。

6 年生「里海科」（文科省特例教科）～海を知る、海を守る、海を利用する～

「漁師の仕事」について地元で働く若い漁師を招き、ふるさとに対する愛着やふるさとの漁業の発展にかける思いを学習する。また、地元でとれる魚について学ぶとともに魚の料理についても学習する。

② 実践の評価について

1・2 年生

生活科の3観点「生活家への関心・意欲・態度」「活動や体験についての思考・表現」「身近な環境や自分についての気付き」をもとに単元ごとに評価する。

3・4年生

総合的な学習の時間の観点「学習方法に関すること」「自分自身に関すること」「他者や社会とのかかわりに関すること」をもとに、それぞれ1～3項目評価基準を決めて評価する。

5・6年生

里海科の4観点「里海学習への関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」について評価する。

3 今年度の実践

① 計画からの追加・変更点

4年生が「海を守る」活動の一環として、亀岡市立吉川小学校とそれぞれの取組をDVDで紹介し合った。児童は他の地域の取組と比較することで自分たちの海の特徴を掴むことができた。次年度以降も継続した交流を行う予定である。

5年生の「海を守る」活動が発展し、啓発ビデオや町当局への提案書を作成した。

② 実践の成果

4年間の系統的な学習を通して、児童は海に関する興味・関心が高まり、地元の良さを実感するだけでなく、海洋ゴミ問題を引き寄せて考え、取組を発展させるなど主体的に学びを深めるようになってきた。児童は、これらの里海学習・活動を通してたくさんの大人から学び、ふるさとへの愛着や地域の一員としての自覚が高まってきている。

5月の「イカす会」での発表、11月の「九十九っ子発表会」、2月の「里海科・総合的な学習研究発表会」など、保護者や地域の人々に児童自らが学習成果を発表する機会を通して、保護者や地域の本校の海洋教育の取組に対する理解が深まるとともに、地域活性化の面においても里海学習への期待や信頼が高まった。

今年度は、特に5年生の海洋ゴミ問題についての取組が、石川テレビ（貴財団補助団体）に取り上げられたり、地元のケーブルテレビで放映されたりして本校の取組が広く周知され、児童の活動意欲もさらに高まった。

能登町では、町内の全小中学校で年間5時間以上の海洋教育に取り組んでいる。本校は能登町が推進している海洋教育推進拠点校であることから、今年度は、能登町内の小中学校教職員を対象にした「海洋教育研修会」を企画した。小学校は2020年度から、中学校は2021年度から完全実施される新学習指導要領のねらいや評価方法を念頭に置いて、本校教職員が海洋教育の学習単元づくりをコーディネートした。本校教職員の知見やノウハウを遺憾なく発揮でき、参加した他校の教職員から高い評価を受けた。また、ある能登町内の小中学校では、貴バイオニアスクールプログラムに名乗りを上げており、小中一貫した海洋教育が構築されていくものと期待している。

③ 次年度への課題

これまでに培ってきたカリキュラムを新学習指導要領のねらいや評価に即したカリキュラムに作り替えた。2020年度9月25日（金）に石川県学校教育研究会生活・総合的な学習研究会の研究発表会（県大会）が本校で開催されることになっている。石川県内の小学校に、海洋教育が秘めている学習・効果の可能性を紹介できるよう、また、更に学習メニューを整備しカリキュラムに磨きをかけ、実践ノウハウを町内の小中学校に提案し広めていきたいと考えている。

4 主な連携機関及び内容

- ① 能登里海教育研究所：全学年にわたる指導・助言、実験観察の準備・指導、ゲストティーチャー等
- ② 石川県漁連小木支所（小木漁協）：イカ釣り漁船出航見送り、遠洋イカ漁の歴史と現状、漁協施設・漁船見学、荷揚げ作業見学
- ③ 金沢大学臨界実験施設：プランクトン採集・観察、透明度調査、夜の観察会（海の世界連鎖、地域イベント「イカす会」でのイカの解剖観察体験）
- ④ 海上保安署：着衣泳の指導、漂着ゴミの収集、環境問題等のレクチャー
- ⑤ のと海洋ふれあいセンター：磯観察、海藻観察標本づくり、貝細工等
- ⑥ 石川県立能登高等学校：体験実習船「おおとり丸」体験乗船・定置網見学等
- ⑦ 旬日の出大敷：漁師の仕事見学、ゲストティーチャー等
- ⑧ 小木公民館・町内会：とも旗祭りの歴史、祭礼参加（とも旗祭り、秋の袖ぎりこ祭り）
- ⑨ 石川県水産総合センター（うみとさかなの科学館）：見学
- ⑩ 小木スマイルプロジェクト：地域イベント「イカす会」参加（鼓笛パレード、海を守る活動発表、石川県水産調査船「白山丸」乗船体験・中型イカ釣り船見学、イカの解剖体験）
- ⑪ 石川テレビ放送：海洋ゴミ問題の資料提供、取組放送

その他の連携実績

- ※₁ 「海と日本プロジェクト in いしかわ 2019」（事務局：石川テレビ放送）に係る“里海科”授業体験（県内の小学生希望者：本校里海科主任による出前授業）
- ※₂ 能登町総合防災訓練における、小木自主防災組織（事務局：小木中学校）による津波防災避難訓練（小木小中学校体育館：児童生徒による津波防災支援活動、「海を知る」津波の脅威学習等）
- ※₃ 能登町ケーブルテレビで、里海学習（海洋教育）の実践発表
- ※₄ 能登里海教育研究所主催「いしかわ海洋教育フォーラム」におけるパイオニアスクールプログラム採択校の取組発表・意見交換、ポスターセッション（金沢海みらい図書館：本校里海科主任）

※ 各学年の活動内容の概要は、「海洋教育のストリートマップ」を参照のこと。

※ 活動中の写真ならびに実施単元名等については、「3. 学習内容報告」並びに「4. 資料」を参照のこと。